

## 消火設備の凍結事故状況（令和2年～令和4年）

### 1 消火設備別発生状況

令和2年から令和4年までに報告されている消火設備の凍結事故は図1のとおり合計32件で、平均で年間11件発生している。

その内訳は、スプリンクラー設備が18件、屋内消火栓設備が8件、泡消火設備が6件となっている。

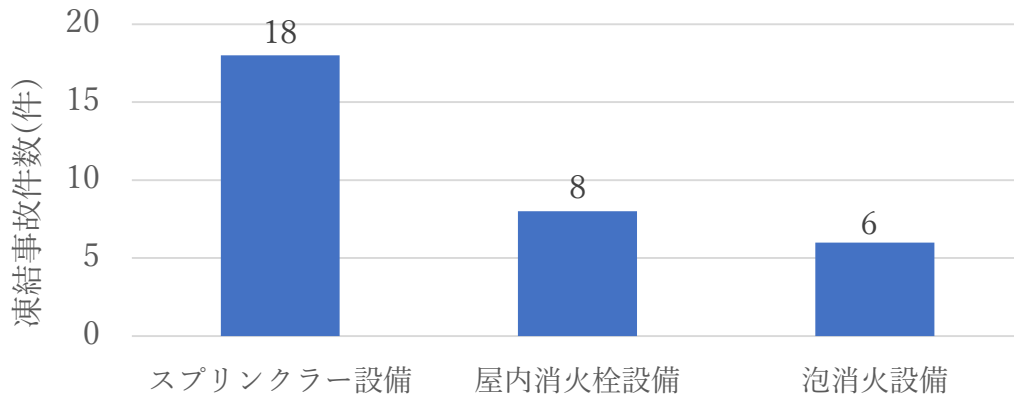


図1 消火設備の凍結事故件数（R2-R4）

### 2 消火設備の発生箇所別発生件数

#### (1) スプリンクラー設備

発生箇所	件数
配管	9
ヘッド	4
アラーム弁	2
バルブ	1
ポンプ	1
止水弁	1

#### 事例1

パイプシャフト内でスプリンクラー設備の配管が凍結したことにより、亀裂して漏水

#### 事例2

空テナントのスプリンクラー設備のヘッドが凍結したことにより亀裂して漏水

#### (2) 屋内消火栓設備

発生箇所	件数
ポンプ	4
バルブ	2
配管	2

#### 事例3

ポンプ室内の暖房を入れ忘れたことで、ポンプが凍結したことにより故障

#### (3) 泡消火設備

発生箇所	件数
配管	4
バルブ	1
不明	1

#### 事例4

駐車場で泡消火設備の配管が凍結したことにより、亀裂して薬剤が漏洩